

大会
安全理事会Distr.: General
11 March 2002
Chinese
Original: English大会
第五十六届会议安全理事会
第五十七年

议程项目 166

消除国际恐怖主义的措施

2002 年 3 月 8 日
以色列常驻联合国代表给秘书长的信

谨提请你注意巴勒斯坦人针对以色列公民持续开展恐怖袭击的最新情况。

昨天午夜之前（当地时间），一名巴勒斯坦恐怖份子偷偷进入以色列的 Atzmona 社区，开始投掷手榴弹并朝四周胡乱开枪。在这场攻击中，5 名同为 18 岁的 Atzmona 居民被打死，23 人受伤，其中许多人伤势严重。恐怖组织伊斯兰抵抗运动（哈马斯）声称此次攻击是他们干的。

昨天下午，一名巴勒斯坦自杀炸弹手在 Ariel 附近 Eshel Hashomron 旅店的大厅自爆身亡。爆炸伤及 11 人，其中一人伤势严重。一名伤者是随一个基督教朝圣团前来旅游的美国人。巴勒斯坦权力机构主席亚西尔·阿拉法特的法塔赫派和恐怖组织解放巴勒斯坦人民阵线事后声称这次攻击是他们干的。

除这些攻击外，以色列部队或警惕性高的公民还挫败了多起事件。在 Karkur 社区附近，一位警觉的工人发现有个形迹可疑的人携带一只鸽子笼，就朝他走去，此人亮出捆在身上的爆炸物，随后跑走了。警方昨天仍在搜寻这名爆炸未遂者。

这些袭击是持续不断的巴勒斯坦暴力行动的最新事件，我在下列信函中曾详述了以前的袭击事件：2002 年 3 月 5 日（A/56/857-S/2002/233）、2002 年 3 月 4 日（A/56/854-S/2002/222）、2002 年 2 月 27 日（A/56/843-S/2002/208）、2002 年 2 月 20 日（A/56/828-S/2002/185）、2002 年 2 月 19 日（A/56/824-S/2002/174）、2002 年 2 月 11 日（A/56/819-S/2002/164）、2002 年 2 月 8 日（A/56/814-S/2002/155）、2002 年 1 月 28 日（A/56/798-S/2002/126）、2002 年 1 月 22 日（A/56/788-S/2002/104）、2002 年 1 月 18 日（A/56/781-S/2002/86）、2002 年 1

月 16 日 (A/56/774-S/2002/73)、2002 年 1 月 11 日 (A/56/771-S/2002/47)、2002 年 1 月 4 日 (A/56/766-S/2002/25)、2001 年 12 月 13 日 (A/56/706-S/2001/1198)、2001 年 12 月 4 日 (A/56/678-S/2001/1150)、2001 年 11 月 30 日 (A/56/670-S/2001/1141)、2001 年 11 月 27 日 (A/56/663-S/2001/1121)、2001 年 11 月 12 日 (A/56/617-S/2001/1071)、2001 年 11 月 5 日 (A/56/604-S/2001/1048)、2001 年 10 月 24 日 (A/56/506-S/2001/1011)、2001 年 10 月 19 日 (A/56/492-S/2001/990)、2001 年 10 月 17 日 (A/56/483-S/2001/975)、2001 年 10 月 8 日 (A/56/450-S/2001/948)、2001 年 10 月 5 日 (A/56/444-S/2001/943)、2001 年 10 月 3 日 (A/56/438-S/2001/938)、2001 年 9 月 24 日 (A/56/406-S/2001/907)、2001 年 9 月 20 日 (A/56/386-S/2001/892)、2001 年 9 月 17 日 (A/56/367-S/2001/875)、2001 年 9 月 7 日 (A/56/346-S/2001/858)、2001 年 9 月 4 日 (A/56/331-S/2001/840)、2001 年 8 月 30 日 (A/56/325-S/2001/834)、2001 年 8 月 27 日 (A/56/324-S/2001/825)、2001 年 8 月 13 日 (A/56/294-S/2001/787)、2001 年 8 月 9 日 (A/56/286-S/2001/780)、2001 年 8 月 8 日 (A/56/280-S/2001/775)、2001 年 8 月 6 日 (A/56/272-S/2001/768)、2001 年 7 月 27 日 (A/56/225-S/2001/743)、2001 年 7 月 26 日 (A/56/223-S/2001/737)、2001 年 7 月 17 日 (A/56/201-S/2001/706)、2001 年 7 月 13 日 (A/56/184-S/2001/696)、2001 年 7 月 3 日 (A/56/138-S/2001/662)、2001 年 7 月 2 日 (A/56/131-S/2001/656)、2001 年 6 月 21 日 (A/56/119-S/2001/619)、2001 年 6 月 19 日 (A/56/98-S/2001/611)、2001 年 6 月 18 日 (A/56/97-S/2001/604)、2001 年 6 月 13 日 (A/56/92-S/2001/585)、2001 年 6 月 11 日 (A/56/91-S/2001/580)、2001 年 6 月 4 日 (A/56/85-S/2001/555)、2001 年 5 月 30 日 (A/56/81-S/2001/540)、2001 年 5 月 25 日 (A/56/80-S/2001/524)、2001 年 5 月 18 日 (A/56/78-S/2001/506)、2001 年 5 月 11 日 (A/56/72-S/2001/473)、2001 年 5 月 9 日 (A/56/69-S/2001/459)、2001 年 5 月 1 日 (A/55/924-S/2001/435)、2001 年 4 月 23 日 (A/55/910-S/2001/396)、2001 年 4 月 16 日 (A/55/901-S/2001/364)、2001 年 3 月 28 日 (A/55/863-S/2001/291)、2001 年 3 月 27 日 (A/55/860-S/2001/280)、2001 年 3 月 26 日 (A/55/858-S/2001/278)、2001 年 3 月 19 日 (A/55/842-S/2001/244)、2001 年 3 月 5 日 (A/55/821-S/2001/193)、2001 年 3 月 2 日 (A/55/819-S/2001/187)、2001 年 2 月 14 日 (A/55/787-S/2001/137)、2001 年 2 月 13 日 (A/55/781-S/2001/132)、2001 年 2 月 2 日 (A/55/762-S/2001/103)、2001 年 1 月 25 日 (A/55/748-S/2001/81)、2001 年 1 月 23 日 (A/55/742-S/2001/71)、2000 年 12 月 28 日 (A/55/719-S/2000/1252)、2000 年 11 月 22 日 (A/55/641-S/2000/1114)、2000 年 11 月 20 日 (A/55/634-S/2000/1108) 和 2000 年 11 月 2 日 (A/55/540-S/2000/1065)。

鉴于巴勒斯坦权力机构的部队在针对以色列平民开展的恐怖袭击中扮演的角色，以色列要追究巴勒斯坦权力机构及其主席亚西尔·阿拉法特对这些袭击事

件的直接责任。阿拉法特主席非但没有如他反复承诺的那样以及按照国际社会对他的一贯要求，采取一致行动解除在巴勒斯坦领土活动的恐怖团体的武装，使之无法为所欲为，反而继续煽动他的人诉诸暴力，并支持暴力和恐怖行为。

以色列承诺在安全理事会第 242（1967）和第 338（1973）号决议的基础上，谈判和平解决本区域的冲突问题，但认为只要恐怖主义在巴勒斯坦领导人的支持和准许下持续存在，上述解决就无法持久。不能指望以色列与鼓励继续对包括无辜的儿童和青少年在内的以色列人施行暴力的同一批人进行谈判。回到谈判桌的第一步只能是按照米切尔报告和特尼特谅解的规定，全面无条件地停止敌对行动。

国际社会必须表明，蓄意以平民为攻击目标是绝对不可接受的，同时在其反恐怖主义运动的范围内要求巴勒斯坦领导人对其领土内窝藏的恐怖组织采取真正行动。只要有人把蓄意以平民为攻击目标的作法看成是推进政治议程的合法策略，我们实现和平解决问题的努力就会受到严重损害。只有巴勒斯坦领导人作为其义务从言行两方面都摒弃恐怖主义，双方才能朝着和平共处的未来迈进。

请将本信作为大会第五十六届会议议程项目 166 的文件和安全理事会的文件分发为荷。

常驻代表

耶胡达·朗克里（**签名**）